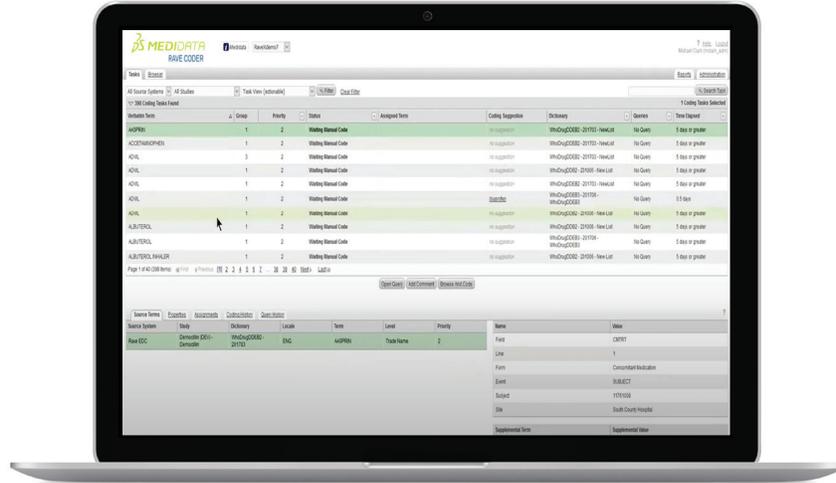


臨床試験のための、正確で一貫性があり、迅速な医療コーディングを実現



Rave Coderは、MedDRA、WHODrugおよびJDrugの辞書を利用して、Rave EDCや外部ソースの報告用語のメディカルコーディングを提供します。自然言語処理と機械学習を用いたRave Coderによる候補用語の提案により、マニュアルコーディング作業を支援します。

Rave EDCと一緒に利用した場合、コーディングが必要な報告用語については、Rave Coderで自動的にフラグが表示されます。コーディングが決定されると、Rave EDCフォーム上の報告用語に対し、コーディング結果が自動的に追加されます。

Rave Coderの利点

Rave Coderは、臨床試験におけるメディカルコーディングを一元化し、効率化することにより、治験実施施設、コーディングスペシャリストやデータ管理者に対し、以下のような重要な利点をもたらします：

正確なコーディング

- 自然言語処理と機械学習を用いたコーディング候補提案のアルゴリズム
- 利用統計により、コーディング候補提案の効果を数値化し、アルゴリズムを改善

迅速なコーディング

- Rave EDCとRave Coderの間で統合され、自動化されたワークフロー
- シノニムリストのメンテナンス—マニュアルコーディングの決定内容を記録することができるため、次に同じ報告用語が出てきた場合、シノニムリストを利用して自動的にコーディングを行う

最新の辞書

- 辞書のメンテナンスはメディデータにより管理され、辞書の新バージョンのリリースから10営業日以内に更新が行われる
- 既存試験の辞書のバージョンアップを実施

特長

コーディング候補提案のアルゴリズム

Rave Coderは、自然言語処理と機械学習を利用して、マニュアルコーディングを待つタスクに対し、コーディング候補を提案します。コーディングスペシャリストは、コーディング候補を閲覧する際に、提案されたコーディング判定を評価し、提案を承諾することを選ぶか、または別の用語を手動で検索することができます。

辞書のメンテナンスとバージョンアップ

最新のコーディング用語を使用できるようにするためのWHODrug、MedDRAおよびJDrug辞書のアップロードについては、メディデータが管理します。シノニムの移行・照合および試験影響分析ツールにより、既存試験の辞書のバージョンアップをサポートします。

統合されたクエリ管理

Rave Coder側でコーディングスペシャリストが問い合わせたコーディングに関するクエリは、治験実施施設のスタッフ宛てにRave EDCに送られます。

外部ソースの報告者記載用語の管理

Rave EDC以外から入手した報告者記載用語をRave Coderでインポート、コーディング、抽出することができるため、臨床プログラムにおいて、Rave EDC以外で管理されている試験を含め、全試験を通じてコーディング決定の一貫性を保つことが可能です。

メディデータの優位性

メディデータは、何千本もの臨床試験で下された何百万件ものコーディング決定に対する、比類ない規模のアクセスが可能であるため、この過去のデータを活用し、人工知能を利用して、ますます正確なコーディングの提案を行うことができます。

Rave Coderは、業界で最もよく利用されている臨床データ管理システムであるRave EDCと連動して、有害事象データや併用薬データの迅速、正確な収集を可能にします。